



エリア価値を高める“まちづくり”に挑む～株式会社ワカヤマヤモリ舎～

ワカヤマヤモリ舎は、和歌山市が主催するリノベーションスクールに参加したメンバーが主体となり立ち上げた企業。『Guesthouse RICO』（和歌山市新通）から半径約200mのエリアを中心に、地域の魅力を発掘してブランド力をつけ、エリア価値を高める“まちづくり”に取り組んでいます。



スクールから生まれた家守会社を中心に
にした『紀州まちづくりグループ』が
運営する『The Public』

2013年度からこれまで9回開催された同スクールは、約220名が受講しており、ワカヤマヤモリ舎や紀州まちづくり舎などの家守会社が6社も設立されるに至っています。



リノベーションした Guesthouse RICOの内装

「RICO」が誕生
ワカヤマヤモリ舎は、リノベーションスクールの第2回（2014年）と第3回（2015年）の課題となった物件から事業化された『Guesthouse RICO』を運営しています。第2回目のスクール時に作成された事業計



第10回目となるリノベーションスクールは、加太にて開催予定。
主催：南海電気鉄道、和歌山市。
問合せ：リノベーションわかやま事務局（株式会社紀州まちづくり舎内）TEL 073-425-8583

これまでのスクールでは、参加者がいくつものチームに分かれ、チームごとの課題として示される遊休不動産を、どう活用するかをメンバーで話し合い、プレゼンテーションを繰り返し、講師の指導の下に実現が可能な事業計画を作りあげました。



RICOのカフェと coworkingスペースの受付

現在、その計画により実現した『RICO』は、ゲストハウスやカフェ、コワーキングスペース、シェアハウスとして再生させたり、空き物件と何かをやりたい人とのマッチングや、マルシェイベント『大新ビクニック』の開催、空き店舗を利用した社会

画では、関西国際空港へLCC（格安航空会社）の参入から、これからの和歌山を訪れるバックパッカーが増えることと見込み、また和歌山大学の学生をまちなかに呼び込むための拠点として、①ゲストハウス②カフェ併設のソーシャルハウス③コワーキングスペースの設立という3つの大きな方向性を打ち出しました。



ワカヤマヤモリ舎の橘さん（右）と宮原さん。
お二人は、活動をきっかけに結婚されました。

現在の活動
ワカヤマヤモリ舎は、RICOの運営以外にも築57年の木造アパートを改修し、シェアハウスとして再生させたり、空き物件と何かをやりたい人とのマッチングや、マルシェイベント『大新ビクニック』の開催、空き店舗を利用した社会

「新しいものを建てるのも良いけど、古い建物はここにしかない一品もの」という橘さんは、兵庫県西宮市出身。小さい頃、和歌山市に住む祖母の家をよく訪れていました。「おばあちゃんの家にはニワトリがいて怖くて、家も隙間風が入ってきてすごく寒かった。五右衛門風呂はとても熱くて入るのが嫌でした。お手伝いでキノコの菌打ちをしたり、朝ごはんはニワトリが産んだ卵を食べたり、当時はそこまで楽しい思い出はなかった」と話します。

ところが、大阪にあるお店で「ものを消費するだけでないサステイナブルな価値観」と出会ったそうです。新しいものをどんどん作るのではなく、いいものを大切に使うという想いが自身の中に芽生えてきて、心の中でもやっとなつたものが、和歌山とつながったといいます。そして、まわりの人

「新しいものを建てるのも良いけど、古い建物はここにしかない一品もの」という橘さんは、兵庫県西宮市出身。小さい頃、和歌山市に住む祖母の家をよく訪れていました。「おばあちゃんの家にはニワトリがいて怖くて、家も隙間風が入ってきてすごく寒かった。五右衛門風呂はとても熱くて入るのが嫌でした。お手伝いでキノコの菌打ちをしたり、朝ごはんはニワトリが産んだ卵を食べたり、当時はそこまで楽しい思い出はなかった」と話します。

から背中を押してもらい、和歌山で暮らすことを決意しました。今後は、大学で学んだことや商業コンサルタントとしての経験、サステイナブルな想いを大切にして、地域を盛り上げ、エリア価値を高めたいと話します。

「最近、20代後半の担い手が育ってきています。また、その世代に憧れる10代後半から20代前半の世代の参加も増えてきている」と嬉しそうに橘さん。

新しいもの、古いもの。無駄にみえても大切なもの。価値観は多様ですが、よく考え見極めて、次の世代に繋いでいくことが、今を生きる私たちの役割ではないでしょうか。（西峰祐美）

みなさんの「地域を元気にする」活動を応援します！ 和歌山県 NPO サポートセンターをご利用ください

和歌山ビッグ愛9階にある和歌山県 NPO サポートセンターは、県民のみなさまの公益的な活動を総合的に応援する施設です。ご利用をお待ちしています！



◀カラー印刷機
ポスタープリンタ▶
どちらも利用団体登録が必要です。公益性のある取り組みに関する印刷に限らせていただいております。



ご利用いただける団体

和歌山県内で NPO 法人、NPO・ボランティア団体、公益社団・公益財団法人、一般社団・財団法人などの組織形態で、公益性のある活動をおこなっている団体。
※ ご相談や情報収集は個人・企業の方でもご利用いただけます。

ご相談

- ▶ NPO 法人の設立・運営（定款変更や事業報告、役員変更等）にまつわる実務
 - ▶ NPO・ボランティア団体の運営実務
 - ▶ 企業の社会貢献活動等のパートナーとしての NPO 法人等のマッチングなど
- ※ ご相談は、窓口・メール・オンライン等で承っています。来所の場合はご予約ください。

情報収集・発信

- ▶ NPO・ボランティア団体のイベント情報の収集と発信
- ▶ 助成金をはじめとした各種支援情報
- ▶ 法律で定められた NPO 法人の情報公開資料（事業報告書等）の閲覧・縦覧

各種事務機器

カラー印刷機、ポスタープリンタなどをご利用いただけます（一部を除き、実費負担が必要です）。

会議室

会議室を無料でご利用いただけます。
※ 会議室は和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”、和歌山県青少年活動センターとの共用で、申込み受付と管理は男女共同参画センターが担当しています。

情報ブログ・メールマガジン

当センターに届いた情報はブログ（随時更新）、メールマガジン（毎月2回配信）で発信しています。

ブログはこちらから
アクセスできます



メルマガ配信登録は
こちらから



和歌山県 NPO サポートセンター
和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
業務時間：9:00～20:50（日曜は17:30）
休館日：月曜・祝祭日・年末年始
TEL 073-435-5424
FAX 073-435-5425
E-mail info@wakayama-npo.jp
和歌山県 NPO ホームページ
「わかやま NPO 広場」
<https://www.wakayama-npo.jp/>

次回の「わかつく」は7月16日付。新型コロナウイルスで注目された「保健所」を取り上げます。